

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成24年8月10日

【四半期会計期間】 第76期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 三共生興株式会社

【英訳名】 SANKYO SEIKO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 川崎賢祥

【本店の所在の場所】 神戸市中央区江戸町101番地  
(注)上記は登記上の本店所在地であり、実際の本店業務は  
下記の場所で行っております。

【電話番号】 06(6268)5188

【事務連絡者氏名】 社長室ゼネラル  
マネージャー 下川浩一

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区安土町二丁目5番6号

【電話番号】 06(6268)5214

【事務連絡者氏名】 常務取締役 長澤和之

【縦覧に供する場所】 三共生興株式会社 大阪本社  
(大阪市中央区安土町二丁目5番6号)

三共生興株式会社 東京本社  
(東京都中央区日本橋富沢町11番12号)

株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第75期 第1四半期 連結累計期間	第76期 第1四半期 連結累計期間	第75期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (百万円)	7,476	7,800	38,546
経常利益 (百万円)	320	343	3,128
四半期(当期)純利益 (百万円)	84	60	1,808
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	232	934	2,309
純資産額 (百万円)	20,499	21,070	22,577
総資産額 (百万円)	45,027	44,780	48,048
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	1.86	1.34	39.95
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	44.7	46.2	46.2

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景とする回復の動きが見られたものの、欧州債務問題の再燃による世界的な金融不安の拡大や為替の動向、電力供給の問題等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましては、消費マインドの好転などにより春物ファッション商材の一部に活発な動きが見られましたが、不安定な天候や消費者の価値観の多様化への対応などもあり、予断を許さない状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、各事業、各分野において多様化するライフスタイルや消費者のニーズを的確に捉え、ブランドを軸とした価値ある商品の企画・生産・販売に取り組んでまいりました。

また、海外事業につきましては、基幹ブランド「ダックス」を軸に台湾、香港を含む中国などアジアマーケットの深耕を鋭意推し進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4.3%増の7,800百万円、営業利益は前年同期比51.3%増の233百万円、経常利益は前年同期比7.4%増の343百万円、四半期純利益は投資有価証券評価損を計上したことなどにより前年同期比27.8%減の60百万円となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ファッション関連事業

ファッションブランド商品の国内市場におきましては、ブランドの特性を活かした商品企画と効率的な納品体制の確立に努めた結果、概ね順調に推移いたしました。

「ダックス」を中心としたファッションブランド商品のアジア市場における販売におきましては、アジア経済全般が足踏み状況となる厳しい環境のなか、堅調な売上を確保するなど比較的健闘する結果となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比11.7%増の3,279百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べて98百万円改善の61百万円となりました。

#### 繊維関連事業

アパレル企業向けのOEM事業におきましては、天候不順で衣料品市場全体の動きが鈍いなか、企画提案力のさらなる向上とクイックレスポンスの生産・納品体制の確立に努力いたしました結果、売上、利益ともほぼ前期並みとなりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比0.7%減の2,389百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比24.5%減の11百万円となりました。

#### 生活関連事業

タオル、寝装、寝具などのリビング商品の販売におきましては、節電意識の高まりもあり、夏物の涼感寝具など高機能商品の開発に鋭意取り組んでまいりました。

ブランド商品の販売は概ね堅調に推移した他、産地物タオルが引き続き好調、快眠を導く枕の販売も順調に推移するなど増収増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比3.5%増の1,945百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比39.3%増の81百万円となりました。

#### 不動産賃貸事業

大阪の賃貸ビルをメインとして、東京、横浜、神戸等の不動産に係る賃貸事業は、市場の需給悪化の影響もあり稼働率が低下するなど、減収減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比10.6%減の529百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比15.8%減の202百万円となりました。

#### その他

物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業、内装工事業等の売上高は前年同期比7.1%減の328百万円、セグメント損失（営業損失）は6百万円（前年同期は2百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

流動資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,893百万円(10.4%)減少し、16,311百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が1,839百万円減少、現金及び預金が466百万円減少した一方で、商品及び製品が452百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,374百万円(4.6%)減少し、28,469百万円となりました。これは投資有価証券が1,098百万円減少、商標権が238百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて3,267百万円(6.8%)減少し、44,780百万円となりました。

流動負債

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,212百万円(6.3%)減少し、18,106百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が561百万円減少、未払法人税等が464百万円減少、未払費用が452百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて548百万円(8.9%)減少し、5,604百万円となりました。これは繰延税金負債が373百万円減少、長期借入金が114百万円減少、長期未払金が62百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1,760百万円(6.9%)減少し、23,710百万円となりました。

純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,507百万円(6.7%)減少し、21,070百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が659百万円減少、剰余金の配当が565百万円あったことなどにより利益剰余金が505百万円減少、純資産から控除している為替換算調整勘定が323百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	240,000,000
計	240,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	60,000,000	60,000,000	東京証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 であります。
計	60,000,000	60,000,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		60,000		3,000		6,044

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 14,736,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 45,249,400	452,494	
単元未満株式	普通株式 13,900		
発行済株式総数	60,000,000		
総株主の議決権		452,494	

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 三共生興株式会社	神戸市中央区江戸町101番地	14,736,700		14,736,700	24.56
計		14,736,700		14,736,700	24.56

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,401	4,934
受取手形及び売掛金	7,826	5,986
商品及び製品	4,375	4,828
仕掛品	16	5
原材料及び貯蔵品	149	169
その他	442	390
貸倒引当金	7	3
流動資産合計	18,204	16,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,703	9,637
土地	3,876	3,876
その他(純額)	531	563
有形固定資産合計	14,111	14,077
無形固定資産		
商標権	3,808	3,570
その他	168	166
無形固定資産合計	3,977	3,737
投資その他の資産		
投資有価証券	10,913	9,815
その他	1,577	1,575
貸倒引当金	735	735
投資その他の資産合計	11,755	10,655
固定資産合計	29,844	28,469
資産合計	48,048	44,780

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,520	4,959
短期借入金	10,594	10,620
1年内返済予定の長期借入金	484	459
未払費用	1,337	885
未払法人税等	616	151
返品調整引当金	250	148
その他	516	883
流動負債合計	19,318	18,106
固定負債		
長期借入金	1,065	950
長期未払金	624	561
繰延税金負債	2,897	2,524
退職給付引当金	600	606
長期預り金	773	717
その他	191	244
固定負債合計	6,153	5,604
負債合計	25,471	23,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,165	6,165
利益剰余金	18,377	17,872
自己株式	5,235	5,235
株主資本合計	22,308	21,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,384	2,724
繰延ヘッジ損益	0	16
為替換算調整勘定	3,497	3,821
その他の包括利益累計額合計	113	1,112
少数株主持分	382	379
純資産合計	22,577	21,070
負債純資産合計	48,048	44,780

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,476	7,800
売上原価	4,207	4,386
売上総利益	3,269	3,413
販売費及び一般管理費	3,115	3,180
営業利益	154	233
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	162	149
貸倒引当金戻入額	40	3
その他	33	14
営業外収益合計	237	168
営業外費用		
支払利息	29	27
為替差損	23	14
その他	18	15
営業外費用合計	71	57
経常利益	320	343
特別利益		
固定資産売却益	17	-
特別利益合計	17	-
特別損失		
投資有価証券評価損	8	87
出資金評価損	14	-
特別損失合計	22	87
税金等調整前四半期純利益	315	256
法人税、住民税及び事業税	122	166
法人税等調整額	100	24
法人税等合計	222	191
少数株主損益調整前四半期純利益	92	64
少数株主利益	8	4
四半期純利益	84	60

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	92	64
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	122	659
繰延ヘッジ損益	3	16
為替換算調整勘定	266	323
その他の包括利益合計	140	999
四半期包括利益	232	934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	224	938
少数株主に係る四半期包括利益	8	4

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更による損益の影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	199百万円	113百万円
支払手形	291 "	223 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	189百万円	178百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	678	15.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	565	12.50	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ファッショ ン関連事業	繊維関連 事業	生活関連 事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,841	2,176	1,864	452	7,335	141	7,476		7,476
セグメント間の内部 売上高又は振替高	95	230	14	138	479	211	690	690	
計	2,936	2,406	1,879	591	7,814	353	8,167	690	7,476
セグメント利益又は損 失( )	37	15	58	240	277	2	275	121	154

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額 121百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 172百万円及びセグメント間取引消去等51百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ファッショ ン関連事業	繊維関連 事業	生活関連 事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,191	2,153	1,940	400	7,686	113	7,800		7,800
セグメント間の内部 売上高又は振替高	87	235	4	128	456	214	671	671	
計	3,279	2,389	1,945	529	8,143	328	8,471	671	7,800
セグメント利益又は損 失( )	61	11	81	202	357	6	351	117	233

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流倉庫事業、ビルメンテナンス事業及び内装工事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額 117百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 153百万円及びセグメント間取引消去等35百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更によるセグメント損益に与える影響は軽微であります。



(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	1円86銭	1円34銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	84	60
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	84	60
普通株式の期中平均株式数(千株)	45,263	45,263

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載してありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月10日

三共生興株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	林	由	佳
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	仲	下	寛 司

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三共生興株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三共生興株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。